

空腹者の弁

筒井潤

この前、墜落していく旅客機の映像があつて、それをテレビで見せさせられたわけだけど、何ていうか、死んだ人には悪いけど、気持ち良かった。

そういうこと言うと、見栄を張ってるって言われる。

だから見栄が邪魔してるとって言い分。

気にしなくていい。

さすがに無邪気とまでに振る舞うことには即効性の自主規制がすつと降りてくるっていうか、そんな感じがしなくはない。

小学校の下校時刻だ。

ちなみにドヴォルザークの「新世界」だったと、発表しておきたい。

渋好みなんだ、実は。

そんな言い方。

学校がね。

しかし、あれだ。

とびきりのねり消しゴムと連なる展開に持っていきたいところなんだけど。

あの白と黒には心奪われるっていう？

宇宙の原理みたいなものがあの濁り加減に備わってる。

ものすごく指紋が邪魔だった。

わかるけど、あれもそこに含まれて一人前とする。

うん。

通過儀礼にあたるイベント。

そこをクリアできたら例の旅客機にも指紋をつけられるんじゃないか。

ああ、それはすばらしい。

そう？

そんなに言ってくれるなら、いっそのこと旅客機に乗ってればよかった。

またそういう贅沢を言う。

少しは大人になるがいい。

(少し大人のふりをする)

それが大人？

いやいや、あらためてそう言われてしまうと、立つ瀬ないってというか。奇々怪々だってば。

あ。

それは言わない節約でしょ。

そうそう。

これ以上摩擦で目減りさせたら、とんでもないことになる。目を瞑ってろっていうのは都合が良すぎる。

程よい都合って、じゃあ何？

「たまごを軽く握るように」って表現があるじゃないか  
うん。

だから？

日本語が豊かっことがこの場を借りて再現VTRしてみた。

登場人物は本人じゃないけど。

あれはよくない。

だってVTRの人は仕事でしょ？

ああ、そうか。

つまり偽り？

一応投書してる人は真剣だし。

人生賭けてる。

みんなテレビに出たいんですよ。

じゃあ何、旅客機墜落も仕事？

まさか。

たまたま新婚旅行で現場にいたふたりが、しあわせ気分で旅客機落とすか？

一瞬フワッと「いける！」ってひらめくことってこともある。

俗に言う「刹那主義的ロマネスクが右脳内で異常発生する」ってやつだ。

俗って難解だね。

意外と建設的なのかも。

月並みな言い方だという照れとか、バカでごめんという自分への慈悲とか、そういうのが大きく渦巻いている状況。同時に疑ったりなんかもしてて。

結構先まわり効かしてる。

そういうことからすると、旅客機はみんなのプレッシャーを、こう、わあーって感じてたんじゃなからうか。

「あれ、落ちなきや、納得しないぞ、こりゃ」みたいな。

先端だね、やば。

心苦しい限りだ。

またぞろお得意の同情が始まった。

何が。

世界を抱え込むようなものの言い様は、勝手な世界を作り上げるだけだ。

見てみる、太陽が微笑んでいるじゃないか。

だからそれがそうなんだってば。

頭の上にタコを乗せてやろうかしら。

虫歯があるように思われる。

枝毛を基にする。

(くしゃみをする)

どうしたって逃げられないじゃないか。

この有様だ。

もう、何も喋らないほうに行ってしまった人もいるみたいだけど、それももう実はみんな的に言っでとっくに通り越してしまっ  
ていた。

だからこそ、饒舌な人間がはびこる。

喋るって意味でなくても。

兄さん。

何、姉さん。

昨日、熱っぽかった。

何、こんなときになって。

いやらしい。

だいたい君んちの息子さんはテーブルスピーチが上手すぎる。

何だって！？

だからあんまり信用されてないみたい。

言っておく、それは。

「もつとたどたどしくしなさい」って。

奇しくも君に言われてしまっているようじゃね。

奇しくない。

失礼な。

そう人のことを卑下しなさんな。

目の前の敵を増やすことは、別の知らないところで味方を減らしかねない。

味方を増やしていることもあるんじゃないか？

わからないんだって。

片づけられてしまった。

横綱に投げ飛ばされるちびっこのごとくだ。

そんなに悔しい思いが、今あったんだ。

もろとも一掃された。

時の非常勤講師、野呂清彦によると、小さい頃は「野呂」という名前でいじめられていたそう。

「野呂」はまずい。

想像はできる。

でも、実感として身を感じるものはない。  
えっ？

何？

何でいじめられてたか、教えてくれないのか？

わかるはずだ。

ちよつと隙を与えるとこれだから、今日のタクシードライバーのことについては最近タクシーに乗らないのであてにならない返事しかできないのと類似して絶妙。

そんなに教えてほしかったら、野呂に聞けばいいことじゃないか。

音楽を知りたかったら音楽を聞けっていう、例のあれだ。

野呂に野呂のことを聞きたいんじゃない。

野呂がいじめられたそもそのしかじかを飲み込みたいものだ。

いじめを知りたければいじめに聞くといい。

あ、なるほど。

了解了解。

(殴る)

(あつさり殴り倒され、照れて笑いながら起き上がる)

今、このあたりに野呂がよぎった。

たいへんだ、野呂は。

森羅万象の生命が潤滑にやっっていくシステムの中の一つにきちんと含まれている。

滑稽な物語も、時代の推移と共に微塵切りだ。

吐息の色したビル風に吹き飛ばされていく。

ラジカセに吹き込んでいく様子は記録されるべきだ。

伝説も、リモコン一つですぐ再生。

本当なら、ジミヘンは神様なのに。

あ、だとしたら何？

善？

悪？

どっちも違う。

え？

ジミヘンはジミヘン。

テレビで勝手な扱いされるのは見てられないから。

じじいがジミヘンに同情するか？

名前の響きだけならしかねないけど。

だって、もう私たちはしない。

空気に囚われるのはみじめだ。

「とか何とか言いながら」なんて指摘されるよ、それじゃあ。

言われるだけ言われればいい。

三色ボールペンのペン先が出てくる瞬間って、卑猥な光景じゃないか？

そう言われると、これから三色ペンを使うときにはきつと意識してしまう。

中学生ならなおいっそうのことだ。

青春に暗い影を落とす。

そんな時は太宰を読め。

暗さが肯定される世界に浸っていれば、元気にはなれないけど一人泥酔スクールライフ。

荒むのも日課。

授業中は、「僕らの小動物入門」でも読んで、ネズミに思いを馳せるのもよし。

お！

成熟！

大人のさじ加減はエクスタシーの微熱量に比例する。

いやいや、何ととっても貴公子だから。

エーイッ！

ウワァーッ！（他の人、吹き飛ばされる）  
もう、はいつくばうしかない。

悔しーっ！

泣きましよう！

泣いて済むなら泣いてみせましよう！

それも定期的に。

みんなにこう言われたい。

「案の定だ！」

「またこれだ！」

「散歩に行ってくる」

その時、思い出さない？

あ、そうか。

マクドナルドのスペシャルクーポンがある。

腹の足しになるかどうか。

一度足しになんかなりそうになかったから、駅前にできた新しい中華の店。  
うん。

行ってみるわけだけど、次々出てくる料理の味がすごいトリッキー。

そう？

見た目は、そうでもないけど。

騙された。

目眩がしたものだ。

何枚ウワテだった？

六枚か、九枚。

ほほう。

間が気になるけど。

ジャーナリズムはその辺を黙っちゃいな。

その隙間が命取りだ。

でも、この世の中に君臨するちよūdい口実を作るための策略としては悪くない。飽きさせないものがある。

だからといって、よつぽどの大歓迎をされないと辛い。

出来の悪い子として認められてしまう恐れが。

世間体の装備が万全でない。

暗黙のうちに編集されて、圧縮される。

軽やかさの地平が絶好調な世代としては、歪み部分を巧妙に隠し通す実力を意欲的につくるといふ、へそ曲がりの気質を主張する二重のへそ曲がりに自ら狂うしかない。

そういったペーソスから解放されたい。

ゲジゲジがひしめき合っているような。

涙が止まらないね。

哀愁の現在進行形。

掴みどころがない。

前に全然進まないバタ足みたいに。

いつ息継ぎをすればいい？

注文が多すぎる。

もっとコンパクトに片づけてほしい。

十五秒の留守電に収まるようにできないの？

今、根気よく持続できていることと言ったら戸惑うことと踊ることだけだから。

オーシャンはそれを優しく包んでくれる。

シビレエイに出くわすことさえなければうまくいく。

裏切ったらだめだけ。

その時は一気にデス・ホリデイ。

あーあ。

あっ！

気がつくとき、自分がシビレエイになっていた。

どうりで疲れると思った。

悔しい！

こんな時、どうしたらいいと思う？

「ミラーマン」が来てくれたらなあ。

ビーフハートに連絡してみたら？

「ミラーマンはそんなに懐の小さいやつじゃない」って、ビーフハートは言うね。おそらく。

ミラーマンはガッツなサイケ野郎。

ここの宇宙と周りの宇宙の細胞がどっちがどっちだかわからなくなって最終的に均質になって溶け合うことになる。

サイケだけに。

やば。

カッコつけるとか、そういうのじゃなく。

間違いなく複雑系とかでもマーケティングされることのない要素なんじゃないか。

一瞬の静けさ。

これもまたサイケ。

おどけるボートに揺られながら、ちょっと旅に出るのもいい。

えっ。

何。

迷いがまだ。

迷いならいい。

疑いはよくないけど。

どうしよう？

なんか買っていこう。

コンビニで。

パン系？

それともメシ系？

そんなにしっかりと腹ごしらえしたい？

文句ある？

太りたくない。

航海は寒いけど、エネルギーは消費される一方だ。

だから、太らなきゃだ。

わかった？

いたしかたない。

何がほしい？

今は欲望に任せてはいけけない。

問題系の現状として考えられるのは、「ほしいもの」ではなくて「必要なもの」だ。  
なるほど。

必要なもの。

なかなか、即座に答えるのは難しいものがある。

片っ端から言っていけばいい。

鼻毛抜き。

本当に片っ端から言っただうしたい、ん？

満足したい。

ためらわない人だ。

生きていくために必要なもの。

水。

塩。

薬。

ビタミンとかの？

そう。

じゃあ、蛋白質は？

もちろん。

まるで入院するみたいだ。

そんなに悪いものじゃないのに。

楽しいことなのに。

暗くなつてはいけない。

ちよつと待って。

何？

行かつて、今行くの？

そうだけど。

困ったなあ。

明日にしてくれませんか？

何でまた？

郵便局に荷物を取りに行かなきゃいけないので。

あつ！

どうかした？

確かに今は困る。

洗濯物、干したままになってしまう。

インコに餌やらないと。

ドラマの最終回、ビデオ予約してこなきゃ。

レンタルCD返さないと、延滞料金が。

ネタ帳が机の上に置きっぱなし。

食後の楽しみに買っておいたプリンが。

明日は生ゴミの日。  
ジャンプの発売日。  
今週のクロスワードが。  
だめだ。  
こりゃ。  
うわ。  
チエ。  
ノオ。  
デム。  
そつ。  
なつ。  
ゲツ。  
ツーツ。  
シツ。  
まつ。  
しようがないけど。  
何かと大変なみんなだ。  
みんな。  
捕物帳だ。  
それも勤め。  
もう勤めたくない。  
無断欠勤したい。  
でも、根はまじめなので。  
顔色変えてどうしようという積極さに欠けた人物だし。  
エコロジィをきっかけに偶然自然と触れ合うみたいところが、ヒッピーとは違う形のハッピーをわがままなりに要求したりす

るところもある。

とか何とか言ってこの自己分析もげんなりする。  
にわか心が大切。

それを煙に巻くきつねは森でギャーツと鳴いた。

カラスはどうも工場の煙で黒いらしい。

とんだ災難。

ちようちんあんこうは暗いところがお気に入りだというのに。  
まって。

つまりそれは電光石火に比べて十分？

あるいは不十分？

チャイナマンのうわごとに似た晴れ着の各種。

かなりのお買い得だ。

教会に行けばとりあえず退屈さからは免れる。

それは違う。

退屈が許される場所。

ときにはホラー映画みたいに雷も落ちたりするけど。

枕を濡らして。

もつとすばやく。

失敗すればベルトの穴を増やさないとだめだ。

海草の隙間に落ちる月の影な頃合い。

とつくの昔に死んだ人のことを話そうか。

あ、それは旅先で話すって約束だったのに。

トタン屋根に落ちる猫の死体は太陽光線を遮って。

黒マジックでそれを消そうと思ったら、意外な効果に「舟盛り」を頼むしかなかった。  
そう、丸焦げ。

草履の裏に「ごくろうさん」って書いたの誰？  
えっ？

誰っていうのじゃなくて、つれない交友関係に終止符を打つきっかけになればな、と思って誰かがやったんだ。  
紛らわしい気配り。

あ、そんなつもりじゃなかったのに。

ただルサンチマンなだけ。

なんてアリな人なんだろう。

そういう自分だって実は羽アリのくせに。

待った待った。

言い争うのは止めよう。

私たちは名探偵ホームズというよりも鬼平のやり方で安全な暮らしを目指しているのに。

より一層の改善が急がれる。

おや、後方にハトが。

平和の象徴に譲れないところもあって、それこそ紳士の態度かもしれない。

屈伸運動によって視線がハトに近づくのが喜ばしい。

だから、紳士には屈伸運動をする習慣があるのか。

右手にはキャベツ。

にんじんもあつたらベター。

伝統から言って、パラソルは持つけどささない。

紳士という生き方がおかしい時代は不幸と考えていいと思う。

みんな紳士になっちゃえばいいのに。

それはだめ。

どうして？

誰でも紳士になれると思ってたのに。

紳士は勤勉ではないから。

学習しないことが大切なんだ。

クリーミーな感じに仕上げてもらわないと。

うん。

脱力したらダメ。

ああ、それはそうさせないようにカリキュラムの決まりごとみたいなのがあって、相反するところの矛盾を境界線の曖昧さで乗り越えていく。

そもそも何あれ？

リンリン泣いたりして。

じゃあ、「紳士のスポーツ」ってどう解釈すればよいのやら。

ああ、そう言われてるのって、だいたい監督がスーツ。

それさえ守れば存分に紳士でいられるという口実か。

野球の立場は？

野蛮なスポーツだから。

殴る、蹴る、それに唾飛ばす。

カール・ゴッチは？

好きだな、カール・ゴッチ。

何かおごってもらったりしたのか？

ずっと前に。

え、それはすごい。

まだ生きてるの？

だって、万年だから。

カールが？

何で。

だって、カールが万年って。

あ、これは失礼。

亀をおごってもらった。

それ、ちゃんと生きてる？

だって、うん。

万年だから。

屈しない人。

エサ、たいへんだけど。

ちよつと旅行に行つて帰つてきたらパリパリに乾いてて、冷や冷やもの。

でも、それでも平気なんだ。

エサ、あげればの話だけど。

万年は強い。

いや、だからこれはカールが。

お、カールがパリパリ？

それ、やばくない？

うん。今様子見に行つた方がいい。

絶対。

だって、パリパリなんだから。

えーっ。

カールがパリパリ。

わからなくはないけど。

ちよつと。

ん？

あのカールのパリパリ具合が見たいだけなんじゃないのか？

誰だつて見てみたい。

パリパリなんだから。

ウワァーッ！

期待に胸膨らむ。

よくない。

期待が大きいと後で損した気分になることが多いから。

自分の場合はそうかもしれないけど。

ところで、どうでもいいけど遅くない？

え？

出前、頼んだやつ。

そんなことしたっけ？

あたりっ。

これだから深爪は。

悪かったですー！

いつ出前頼んだ？

随分前。

何を？

いや、だからみんなで盛り上がるわけだから、わたし的に決められなくて、そこはおまかせっていう。

何？

寿司？

ううん、中華。

あ、そう。

ヨロシクーッ！

あ、来たんじゃないか？

はーい。

どうもー。

わぁーい！

ヨロシクーッ！

お願いしますよ、まったく。

ごめんなさい、ちよつとパーマが  
どれどれ？

(ふたを開ける。パンダ。)

これっ。

何がどう？

ヨロシクーツ！

あーっはっはっは、ゴメンネーツ！

ヨロシクーツ！

ヨロシクーツ！

実に愉快だあ！

ヨロシクーツ！

あ、じゃあまた。

はい、どうも。

ヨロシクーツ！

とりあえず、片付けなければ。

(パンダ、投げられる)

そういえば、話変わるけど、シベリアに行ったんだって？  
うん。

どう、あっちは？

たいへん。

へえ。

寒くて寒くて。

あ、もうすっかり満喫できてる。

この話知ってる？

え？

あの、サメが、夢でね、どうやって飛ぶか。

さて、困り果てる様子が見えてきたところで、自慢話。

どうということ？

そのサメ、退治したんだけど後の処理がたいへんでどうしようもなくて、家に持って帰る最中に、八代重紀仕様のデコチャリの北島風味な小学生が横に来て、「先生、痛いよ、痛感するよ」って、濡れティッシュをくれた。できた子だ。

そしたらサメが「アフツ、アフツ」って笑ってた。

どうして？

わからない、そんなの。

まあいい。

そして？

サメが「肌には気をつけるよ」って言って錐揉み状態で空に向かって。

お、すごいなあ、それ。

そしたら空が割れて、田舎の母さんが「公共料金は郵便局の自動支払が便利よ」って、優しい声で、いい、話だ。

(涙ぐむ)

その後、母さんは？

煙の奥へ消えていった。

味がある去り方だ。

学ぶべきところはまだまだある。

絵にでもしてみたい。

でも、デッサン力がないから。

ううん、問題は心。

ピュアな気持ちはあらゆる壁を乗り越えてきた。

ああ、わかっているわかってる。  
バックボーンがミシシッピーにあるかどうかでブルースマンの音楽性がどうこうって言ってもらえない時にきてること  
は。

さて、そこで問題になってくることであって。  
ほう。

何どれ？

一番風呂に入る老人は健全かどうか。

健康のためについてことでは済まされない。

情緒もへったくれもない。

へったくれ？

あそこに集うような老人たちは、絶対に嫌なやつに違いない。

土踏まずの血管の青さとか、自慢してそうだ。

朝から体を温めるといのは何、あれと一緒？

寒い冬の朝、車のエンジンかけてるやつみたいなの？

おっと、うまい喩えは時に流され消えていく。

あらら。

嫁の貰い手が正味三人といったところか。

呼んで。

呼んでおくれよ。

歌うよ。

「てんとう虫のサンバ」

モノクロのぶらり幻想街道まっしぐらだ。

だから。

ん？

点数を多く稼いだ者が勝ちのゲームが多すぎる。

じゃあ、他に何かいい手立てがある？  
努力の度合い。

うわ、最悪。

こういうのはどう？

何？

よりにんじん娘の人が勝ち。

それは男が不利になる。

そうか。

最後になってつまらなくなったやつが勝ちは？

例えば？

例えば、勝っても負けても表情ひとつ変えずに次のゲームの段取りを始めるもの。

かなりきわどいかも。

何で？

そんなことしたら、本当にみんなつまらなくしようとか心がける。

ああ、なるほど。

葬式が終わった後の久しぶりの再会を祝した兄弟でさえ、盛り上がるっていうのに。

でももっと他に技があつて、その節はよくがんばったものだ。

細くなってるんだって。

危ない！

ハッ！

おお、危うく一人旅のところだった。

いい身分の証拠だ。

で、最近どう？

全面的にやわ。

向いてないんじゃないか、ぞっこんではやってられないんじゃないかって思う。

ありがちだ。

時期を間違えるともう、「薄手のセーターで十分だわ」っていうのを言えない。

こういう言葉を聞くと、楽園二号は気を良くするわけ？

ちよつと待て。

ん？

確かに気を良くしないという理由はないこともないけど、言い方がなんかカチンとくるんだ。

そういう楽園一号はどうなの？

お気に入りはメンソール。

キヤーツ、王道走ってる。

ズバリ奥さん、まごころ宅急便だ。

識別できない原因はこれか。

どうも雪解け水が冷たいと思ったら、やっぱりそうか。

日々、物足りなさに嘆く諸君に朗報。

ナイトキヤップをかぶってみよう。

あれ、おい、ぐるぐる回ってるけど、これは少し変なんじゃないか？

どれどれ？

認知されるまでに天文学的な数の女中さんがいるらしい。

さあ、どうやって用意する？

手品師でも呼べばかろうじて。

あれ、そう？

ハイエナのように女中は集まってくる。

国のご両親に挨拶していかなくてもいいのか？

それだ。

だいじょうぶだよ。

無難にこなしてくれる。

どうしたの？

妙に焦ってない？

そういう「こなす」って考え方は己の力量を知るという意味では建設的かもしれないけど、野宿しなきゃならないかもしれないって店長は言ってる。

マイアミに行つとくがいい、そんなやつは。

飛べ飛べ、南国へ。

プエルトリコじゃダメか？

ふふ、具体的になってきたぞ、話が。

他人のように興奮するもんじやない。

ごめん。

そういうのが見つかったらなんて答えればいいんだ？

癒しのハイウェイによるこそ。

きつ、ローテクだな。

そういう自分はどうなんだ？

肝心なのは敗戦処理にどう若手を登板させておくかってことなの。

おいおい。

そこが嫌われてるってことに少しは気づいたら？

あつ。

それは：

いけないか？

確かに、いつかは誰かが言わなくちゃいけないことだったと思う。

でも、この、こんな空気の中で言うかな、普通。

それは来週のキャンプで、就寝時刻に班長が発表することだったんじゃないの？

しようがないよ、もう言っちゃったんだし。

どうするの？

わかった。

え？

行くよ、キャンプには。

うそ？

だって、言いたいこと言いたいんでしょ？

わぁーい！

よかったなあ。

連れに自慢できる、ほんとに。

何か手伝うことあったら言ってよ。

できる限りのことはさせてもらおうし。

うん。

わかった。

だいたい考え方がデジタルすぎて飽き飽きしてたんだ。

みんなはコミカルだっていうのに。

そうそう。

いやあ、すつきりする。

ねえ。

楽しみだなあ、キャンプ。

はりきってるなあ。

恭子、実物大！

あーっはっはっはっは。

あーっはっはっはっは。

日差しがまぶしい。

どう、気持ち悪んだ？

ううん、まどろんだ。

そうかそうか。

楽しいキャラに。万歳だね。

まったくだ。

前人未踏のカレーライスも作ろうね。

ああ、そうだった。

ひよつとして、忘れてた？

ん、ああ。

ひどいひどい。

こういうのって、絶対に野外で作った方がおいしいのはどうして？

あ、わからない。

でもそうでしょ？

ふん。

気のせいだよ。

なあーんだ。

かみさんの打ち明け話より核心突いてくるなあ。

土産話は弱小なのに。

すみやかに修正してほしい。

ローテーション組んどく？

粹だねえ。

調節できないの。

今更粹なんて掛け軸にでもしとけばいいのに。

それじゃあ、二進も三進もいかない。

そうかなあ。

常識派には育まれるしかない。

直に相談してやろうと思う。

稀に見る活躍に、肝心のみなみなさんが来てないなんて、履き違えてる感じがする。まあまあ、そういうことも制限がないよりは自由に来たことにこしたことはない。

和みシフトに入ったでしょ？  
わかる？

だって、つまらないからそれ。

えー、お上手だと思ってたのに。

苦労は買ってでもしろって言うけど、子供の頃はいつも被害者意識に憤りを感じてたことだから、決してご苦労って意味で仕掛けたわけじゃないことを把握してからもものを言っしてほしいと、つまりこういうことなんだけど。

身近な人で批判する人いない？

いない。

だからだ。

何が？

たやすいことなんだ、そんな風に唄い上げることは。

人生を、いつまでも謳歌してほしい。

謳歌謳歌。

サスペンスなんだ、生きること自体が。

巻き込まないでよ。

誰が？

あ、だからほら、今の怪しかった。

「誰が？」って。

え、どれ？

こんな、こんな感じで「誰が？」。

ウソ、ちよつと見せて。

「誰が？」

「誰が？」

違う違う、「誰が？」

「誰が？」

「誰が？」

ううん、「誰が？」

「誰が？」

うわっ、やつぱり巻き込まれた！

何で、もう！

すごいイヤ。

綿密にやってきたつもりだったのに。

甘酸っぱい青春の夕暮れを思い出す。

いつも死んでた。

そんじよそこらのきな臭さとは比べものにならない。

目指したいねえ。

何を？

男の自炊。

勝手なことを言うもんじゃない。

でも、臨機応変ってこういうのだから。

しまった、懸賞に応募するの忘れた。

締め切りは？

明日必着。

ああ、だめだ。

当たれば嬉しかったらうに。

でも、そしたらあれだ。

直接持っていけばいい。

えー。

でもねえ。

でもって言ってもそれしかないんだから。

うん、諦める。

何が当たるの、それは。

ホテルの宿泊券。

ペアで？

ううん、一人。

なんか、寂しい懸賞。

自分には似合ってると思ったから。

そんな自己否定しなくても。

ずば抜けて規定してるのとは違うから、人に迷惑はかけないし。

なんか、辛くしてるような気がする。

もっと、ソムリエを楽しむくらいの余裕があってもいいのに。

小さい自分が勢揃いしてる場合じゃないし。

間違いなくデコレーションな、豪華人間にすればいい。

他人任せだった呪いを、自分が自分に呪うことで完璧に頑丈な態度がお披露目できるのでは？

そうと決まればアンダー・ザ・サンダー。

(雷が落ちる)

あ、決起集会してる！

幻覚の中に見たものは、

幻覚の中に見たものは！

靴の中の棘みたいなのが気になって気になって。

読み間違えたみたい。

経験不足といったところか。

基礎体力が十分でなかったと。

運動不足だったと。

口ばかりではだめ。

リングも絶対剥いて食べないんでしょう？

尋常じゃないね。

パーンチ！

(殴られる)

これはカーニバルの形相に変化してきた証拠（あかし）なのかも。

(プラモデルを持ってくる)

きたきた。

はいこれ。

今日は誰だろ？

昨日みたいにはいかない。

お、阻止するっていうの？

最近はずっかり独り占めされてるから。

とにかく、「血統だから、しょうがない」とか、「歴史的に見て血筋の問題が」といった、半ば放棄に近い物言いが蔓延ることをただ指をくわえて眺めているわけにはいかない。

困ったな。

追われる立場になっていたなんて。

いつしか、あなたの運命をひっくり返すことで世界の、さらには宇宙の秩序を取り戻し、健全な生態系を確保してやる。

好きに言ってるがいい。

実力の差は明らかだ。

武者震いがする。

ま、お互いに健闘を祈ろう。

火花を散らすその様子はタンゴの調べに似て情熱的。

世界中の少年少女たちが固唾を飲んで見守っているんだから。

それでは皆さん、準備はよろしいでしょうか？  
うす！

位置について、用意、スタート！

(一斉に黙ってプラモデルを作り始める)

完成！

何い？

どれどれ？

ああ、できてるねえ。

どう、参った？

参りました。

悔しいなあ。

どこかごまかしてない？

完璧だって、ほら。

うーん。

いい、始めても。

どうぞどうぞ。

これも定め。

ほら、誰か最初のやつ言って。

う、うん。

愛について語ることに、人類始まって尽きることなし。

されど、愛に語りかけることのできる者、極めて稀なり。

さあ、今、ここに現れん、愛の語り部、リキッド將軍！

ババーン、ババーンババーン……。みんなは、汗だ。青春を象徴するものを考えてみるが良い。血、汗、涙。どれを取ってもす

なわち汁。所謂リキッド。邪悪な秘密結社から地球を守るために、リキッドは空気中にさまよい続ける。愛はリキッド。他に選択の余地なし。きめ細やかなジャングルの小鳥に向かつて、小競り合いは注目の的だって、ほんの少しアドバイスしてあげるだけで、本決まりの縁談が未長く続くというもの。ケジメなさい。そして、目くるめく偶然の出来事に愛を、パワーを感じなさい。分岐点は今ここに、あなたの目の前に、肝心のリクエストが九分九厘用意できた時点で静かに立ち現れる。積み残しなし。抜かりない個人としての危険性にコロシアムの男たちはリキッドで、愛のリキッドで立ち向かう。そして、リキッドキッズ。(霧吹きで水を空気に撒く。) おお、キッズ。相変わらずだ。冷えの構造にも恐れをなさず、ただひたすら広がり続ける、純粹無垢な姿に、私はただこうやって戯れていた。リキッドキッズ、愛の結晶。リキッドキッズ、両手を広げて受け止めて。リキッドキッズ、フォーエヴァー…

(拍手)

ありがとう、ありがとう。

つまらないなあ。

へこたれてはだめだ。

火の元には十分気をつけて。

だって、これじゃあやつの好き放題じゃないか。

セコンドにもっと冷静な判断のできる、それでいて情熱を持っているロンリー・ウルフを用意しないと、ほんとに伝統の一戦がお笑い軍人ショーになってしまう。

歴代のチャンピオンはこう言っている。

「もんじゃ焼きはたいしておいしくない。しかし、冬の摩周湖はすべからく拝見すべし。」

それを丸呑みするのもどうかと思うが。

何故ゆえ？

定期購読してもいいが、時々特集がつまらない。

ああ、先月号はつまらなかった。

え、そうか？

自分はおもしろいと思ったんだけど。

どうだった？

あ、読んでない。

なんかね、「ビル・ゲイツ、駄洒落ソフトの夢を語る」って、タイトルで、あのビル

が世界各国の言葉に対応する駄洒落ソフトを作るって、抱負を語ってるって、ただそれだけ。

「駄洒落ソフト」って？

ひとつ何か単語を打ち込むとすごい数の駄洒落の例文が出てくんの。

それをビジネスの場で使ってください、とは彼の弁。

自信たっぷりだ。

どうでもいいけど、なぜ彼の顔はあんなにヘリウムガスを吸いまくったような感じがするの？

段取りなんでしょう。

ああ、そうか、あれは段取りか。

緻密だ。

絶対に山登りしても獣道なんか歩いたりしなさそう。

差し詰め、利口なベン・ジョンソンと言ったところか。

人は彼のことを電腦ヤクザと呼ぶ。

気丈であることにはかわりはない。

ひじきとか、ちよつと気の利いたものをさつと作れる兆しが少しでも窺えるなら、問題は酒のほうだと証言するのは身勝手に勘当されたも同然。

別荘に逃げるという手も考えられなくはないけど、ヘボン式が闇雲に評価されている月末の集金に耐えることをそう簡単に書き殴ることは犯罪に近い。

鮮度の高いカジキマグロにひれ伏す漁師はいつまでたっても真人間でしかいられないっていうコンテキストからすると、ビルはやっぱり全うしたいんじゃないの？

有名税っていうのもあるし。

けど、ビルはもつといい待遇のルームサービスを受けたいがためにホテルを転々としてるんじゃない？

地味な言い方をすれば、ヒューマニズムの情けない体たらくに着いていけなくなったからという、みんなの視線を一手に引き受

けた志加減が気に食わないっていう？

身近な存在になりすぎると、モレシヤンはそのマナーにいちやもんをつけるだろう。睨み効かす。

ワールドを世界にまで広げればいいんだけど、全員がそう簡単にできることではない。だいの大人があたふたしてるからおもしろいんでしょ？

ジェットコースターに乗ればよその人扱いされずに飲めるんじゃない？

ああ、割り切れないねえ。

無難なところでサインしちゃうからいけない。

ポリシーに弱さが残っているから？

しかも汗だく。

電動ノコギリを振り回しながら絶叫の日々。

挙げ句の果てに残りの人生は複数の台風との格闘で非難轟々の連続になるらしい。

簡単な選別でも送ってやるのはどうだろう。

おお、それはいいアイデアかもしれない。

扇風機なんかちよっとおもしろいんじゃないかなあ。

そんな荷物になってしまうのは苦情が来そう。

仙人みたいな生活がしたいつつつてんだから。

できもしないようなことを言うから馬鹿にされる。

「そこを今回はなんとか」ってお願いに近い。

ジグザグハートに自分の亡骸が想像できる？

いまだきジグザグハートってなんか豪快な技。

死語をはびこらせることはレトロの心情なのかな？

シニカルな力が目白推しの上での配球は職人芸。

ぬか喜びになりやすい傾向に羨望の眼差しは？

そんなもの送ったら便乗してもめるやつがいる。

そんなやつは相手にしてられない。

そんじよそこらのやつだ。

毛玉を死ぬほど与えればいい。

考えてもみろ。

毛玉で死ぬなんて。

ペリカン便も驚きだ。

マジカルな出来事に思わず頬が緩む。

謹んでわがままを申し上げるって方法か。

さよう。

記録更新の際の袋叩きの件に対して倫理委員会の反応は？

「つべこべ言うな！」だって。

みごとに乱闘に委員長もエキサイトしたらしい。

ほのかな野心に燃えるという一面の現れ？

自分を開拓したかったんだ、きつと。

方が一何か問題が出てきたら、「私は出題者だ！」ってふんぞり返るといふ荒技に持ち込むつもりだったらしい。

そこまで急き立てるものは何なんだろう？

憧れのマイホームじゃない？

あ、それだ。

いい年して賃貸マンションは格好がつかないということ？

だったら、ほとんどの人が格好悪い。

玄関までは石畳が敷かれてあって、玄関にはトラの皮の上にペルシャ猫。

台所はシステムキッチンで。

茶室は吹き抜けになっているのが理想。

ジェットバスで世界中を飛び回れたら言うことない。

空想だから、結局は。

好きなこと言ってる程度なら欲望なら剥けで構わない。

そういう思想は地下流通センターでいちころにされる。

平気平気。

厳選された超一級のサボタージュに身を包んだ時の気持ちを忘れない限り。

昔、サークル活動でテロしてたんでしょ？

いきなり言うか？

どうして？

不意に言われることって根本的にダメ。

弱い。

役所だけに、致し方ない。

そういえば、この前も。

ああ、あれ？

どうしたの？

なんか、国立中央秘宝館に勤めている友達がすごくモテるらしくて。

うん。

彼女によると人生の節目には必ずスケベな彼ができるらしい。

へえ。

男の場合はどうなんだろう？

それは知らないけど、考えなきゃならないのは彼女がたいして年も取っていないのにもう何度も人生の節目を迎えているということなんだ。

自分はどうかかってこと？

そう。

私はそんなにスケベなことされたことないけどなあ。

そういうこと聞いているの？

違う違う。

人生の節目でしょ？

うん、そう。

高校の卒業とか？

それだったら私は大学のほうが節目って感じしたけど。

ああ、なるほど。

あ、ということは中央秘宝館の彼女は卒業する度にスケベな思いをしてるのか。

それも何か違う。

あと、将来結婚するような交際相手に出会った時とかも節目。

なるほど。

結婚そのものも節目。

そうやって考えていくと、結構あるのかな、やっぱり。

わかった。

何が？

彼女がスケベなんだ。

ああ、そうかも。

じゃあ、彼女が節目そのものだ。

うん。

エマニエル夫人と一緒に。

行く先々でいい思いするんだけど、結局は彼女がスケベだっていう。

そうだそうだ。

魔物なんだ。

となれば、大飯食らいは人生の節目で動けなくなるくらいのもすごい量の飯を食うことになろう。

ちよっと待って。

ん？

それじゃあ、神経質な私は人生の節目でもものすごく神経質になるの？

そういうこと。

他人（ヒト）が近寄れなくなるくらい神経質になる。

すごい損した気分。

逆に私なんかは普段ブーツとしてるから、人生の節目には何日も、何ヶ月もブーツとしてるのかも。

損得勘定が難しそう。

確かに。

たいていの人が損してる。

したくてしてるわけじゃないだけに辛い。

私もこの前、元気にしたのに成人式の日にもちを食べたら苦しくなって、私の部屋のドアに「救助求む」って書いて張り紙しておいたら、近所の消防団に水をぶっかけられた。

かわいそう。

そのあと、誰かに添い寝してもらった？

まだ。

それはよくない。

今、ここでしょう、添い寝。

え、あ、そう。

こんなことしてて、何が解決するんだろう。

埒があかないかも。

こうしてると、幻影さえ消えていく。

思考の断絶。

取り散らかしたのを不始末にしておくから、こんなことに。

説教するんなら出て行け。

散髪、行こつと。

事業を企てる時間じゃないの？

そういうのとは縁がないもんで。

友達がね。

また友達？

ああ、ごめん。

いいから続けて。

友達がね、指折り数えるのを、本当に指の骨を骨折させてするもんだと思ってたんだって。幸せな人だ。

うん。

そういう人が、良識派として世間からは認められたりする。

給食のおじさんみたいに。

逆に、悪友の賭け事とかに付き合っつて、かぶれてしまうこともある。

そういう場合も悪い意味で純然たる態度。

全速力で止まらないから、身の毛もよだつ。

口元には泡。

冬はその気で折ってしまった左の小指が痛む。

乱れ髪を整えるのに、ちよつと不利かも。

飼ってる犬に、まだ名残がある左手の匂いを嗅がせて、探してるんだって。

スペースシャトルで宇宙に行ったのも知らずに。

どこに捨てられたんだっけ？

神戸港の上空。

星になると、邪魔だ。

若人がランデブーな夜に、「ほら、星がきれい」なんて夜空眺めてたら小指が光ってる。

グログロ。

でもそれ、赤い糸が結ばれている証拠でどうのこうのってうわさが立って、ありがたがられるかも。ほんとだ。

どうしよう。

戦場さながらだ。

テコンドー、習いに行く？

今からじゃ遅すぎやしないか？

だとしたら、ジャンプを立ち読みだ。

それにはどういう意味が？

ワン・クッションだ。

や、やる。

相手の攻撃は沈滞する。

適当な判断だと評価したい。

そして、その後にバンド結成する。

それは？

猫だました。

抜かりない。

待って。

ん？

バンドのコンセプトは？

「2階から目薬」

パーフェクト！

今すぐ、孫におもちやを買い与えたくなってきた。

相変わらず直滑降だね。

私の消化器系がほっとかないから。

何食べた？

堅実なねぎ焼き。

ああ。

すんでのところ、フオアグラのところを、あえてねぎ焼きか。

アグレッシブだなあ。

職人気質っていうのは大惨事を起こしかねないね。

とぼけるのは流れ星だけで精一杯。

それも圏外だけにしてほしい。

太陽に泥を塗るような事は問題外な話。

精々モノローグ的な処理で物々しい作りに変容させられるのが目に見えてるから。

春めいた感じが破廉恥だ。

中肉中背が調子に乗って盛りづく。

早乙女、危機一髪。

新陳代謝がストライキを起こさない限り、これは耐え難いわけありだ。

自己責任の増大を招きかねない。

そんなこんなで、昔から人は満月の夜に起きるドラマを多く描いている。

ウォーン。

悲しい性よノオ。

雨で試合が中止になった時、スライドされた投手みたい。

ピリッとしなない感じが残る。

私の先輩はそばにめちやくちや七味唐辛子入れるから、ピリッとしすぎ。

毎日先発の高校野球の投手の哀愁。

安心ポストの郵便コンビはどうしようね。

何それ？

普通ならどっちか一方しか知らないのが配達人だけど、彼らは二人で手分けして町内会の手紙のやり取りくらいならほとんど認識してる。

ゲッ、それじゃあ私の恋愛模様もばれてるか。

町内会恋愛？

今時？

だめ？

小学生じゃあるまいし。

でも、だめって言う確固たる理由はない。  
ある。

町内会の風紀が乱れる。

「じゃあ俺も」「じゃあ私だって」ってことになる。

ならない、そんなの。

だったら、「僕だってできるワン」「あたしだってできるニヤン」っていうのはどういうわけ？

路地裏での乱交ぶりには町内会会長も頭を抱えている。

噂によると、会長とこのミーチャンは、三歳になったばかりというのに、すでに子沢山らしい。

何を考えているんだ。

週刊女性自身の記事になりかねない。

問題はミーチャンじゃなくて、会長がミーチャンに内緒で勝手に彼女の子供たちを売り飛ばしている事にある。

そ、それはひどい。

でも、ミーチャンは食事に取りつけなくなるのが怖いから、冷蔵庫の前に会長が立つと会長の足に擦り寄るらしい。

健気だ。

辛すぎる。

今すぐ会長のところへ行こう！

ミーチャンを助ける気？

そんなの当たり前。

無茶を言うもんじゃない。

どうして？

北朝鮮のスパイが潜入しようとして失敗した例が過去に二つある。

その理由は？

最初は上空のヘリコプターから落下傘部隊を降下させたんだけど、風の向きを誤って隣の坂上サンの家に入ってしまった、みんな

でお茶をよばれた。

羊羹が出たらしい。

ああ、それは仕方ないかも。

そして二回目は、目にまつ毛が入った。

そ、それは。

かなり厄介そうだ。

亡命のふりして潜入するのは？

会長の家に亡命？

そう。

そして、買い物に行ってくるふりをしてミーチャンを連れ出しつつ逃亡する。

いいかもしれない。

まず、無防備である事を証明しながら家に近づかなければ。

どんな風に？

満面の笑みを浮かべる。

なるほど。

そして、何も持っていない事を明らかにしなければならぬから、素っ裸がいい。

よし、それだ。

(出て行く)

おいおい。

誰か、気づかなかったの、こうなるって。

(入ってきて) 悪い悪い、先に警察官に捕まっちゃって。

わかってるよ。

だいたい、亡命しなきゃいけない理由があまり明確でない。

そうか。

あ、ホームステイはどう？

ほほう。

そうか。

どうしてそこに思いを巡らせなかったんだらう。

で、またここが問題になってくるんだけど、どういう理由でホームステイするの？

え？ 知らないの？

会長は日本語が片言なんだよ。

インドに数え切れないくらい存在する言語のうちのひとつを、アフリカの訛りで、しかも一時期出張していたドイツの言葉も交えながら会話するって聞いたことはある。

うへー。

気が遠くなる。

そこまでいけばもう会長語だ。

誰、そんな人を会長に推したのは？

なり手がいない上に立候補が今の会長と共産党員だけだったらしい。

みんなそんなに嫌か、共産党が。

ほんとだ。

思想の弾圧に繋がるような言い方は良くない。

そうそう、ちゃんとお互いを尊重し合わないと。

平等に意見を発言できないことほど恐ろしいことはない。

みんなであの、ありがちなやつ、やろうか。

ああ、あれ。

はい、みんな目を瞑って。

今の会長に投票する人、手を挙げて。

(全員手を挙げる)

って、これじゃあ、意味ねえよお！

(全員、目を開ける。)

つていうのも含めて、ありがち。

(全員大爆笑)

ダイナマイトな政。

木っ端微塵だ。

充実！

グレンデが私を誘う瞬間にテレポーションで海南島へ。

アナーキーの意味もわからず懂れる、団塊の世代の気違い沙汰。

へドロに悩まされたから。

尻拭いはできたかもしれないけど、逆に気にしすぎて切れ痔なんだから世話がない。

平凡に連行されるくらいなら、無難に白いご飯を食べていたいから。

適宜に休憩もとりたい。

紅葉おろしかと思つたら、慣れない手つきの船長が指先血まみれにしてた。

港の醍醐味だ。

それは、大根がかなり小さくなっているというのにめげずにすり続けたから、刃が出ている部分に指先が当たっていたから。なんて具体的な説明。

底冷えだ。

天下を取りたければ地に足着けないことが大切。

火星に早くたどり着けた者が支配できる。

だとすれば、楽天家に願望を寄せることができれば、日記にはその日のゲームのハイスコアしか記されない。

あと、アンドロイドの居眠りに微笑む茶の間のおじいちゃんでさえ、世界征服がささやかな夢だった。

そのために、牛乳パックはきれいにたたんでためていたのに、孫がそれをロケットにしてしまったから大変。

おじいちゃん言う。

「千個集めたらちゃんと乗れるのが作れたのに！」

それで火星へ？

そう。

火星でコンビニを経営するのが最初。

ヤンキー対策は？

昔、柔道で県大会の四位だから。

なら安心。

出来の悪い孫は？

今は衛星で自動車修理工をまじめにやってる。

何とかなるもんだって。

ご機嫌だし。

持ち直すのに苦労はしなかった。

ただ、地球に残してきたペットのアリゲーターとクロコダイルが気掛かり。

ああ、中間管理職の。

ストレス、溜まってるんじゃないかな？

でも、クロコダイルの方はいい女性に巡り会えたのか、再婚をほのめかしてる。

ヒューヒュー。

アリゲーターは子供がいたんだっけ？

小学4年生。

頭はいいんだけど、最近国際的な兵器の売買に染まってるから宿題をまじめにしなくなっちゃって。

おかげで損得勘定は私たちよりしっかりしてる。

でも、この前近所のバス停でバスを待ちながら「呪われた運命にさらされた私は、ジャングルに帰ったほうがいいのかもしれない」とって口走ってた。

どうも、帰ることは決心してるらしいんだけど、それを黙って実行するか、連絡してから実行するかで迷っているみたい。

私は、せめて義務教育だけは済ませてから帰ったほうがいいんじゃないかと思う。

ワニには義務はない。

ああ。

そうだそうだ。

ムードに流されてしまってるんだ。

ああいうのは、ムードに弱いから。

赤とか紫の照明でミラーボール回して、「どう？」なんて言われたら「いいえ」とは言えなくなるんだって。弱すぎる！

一度医者に診てもらったほうがいい。

「次の方、どうぞ。」

「どうなさいました？」

「私、ムードに弱いんです。」

「それはお気の毒に。」

「大丈夫でしょうか？」

「季節の変わり目ですから、他にも同じ症状の患者さんはいらっしやいます。」

「あ、そうなんですか。」

「でも、ワニはいません。」

ああ、やばだめか。

ジャングルだよ。

うん、帰らなきゃだ。

でも、ムードに弱いのは治しておかないと。

平気だって。

うん。

ジャングルで生きている動物はみんなムードでああいう風に生きてるんだから。

ウソ？

色とりどりの植物が生い茂って、高くそびえた木々に囲まれて、昼間でも薄暗くてって状況にずっといると、どうもじつとしいられなくなつて、高いところにある木の実を採ったり、キーキー鳴いたりしたくなるの。

ワニだったら、周りがジャングルで、ちよつと土色に濁った河の中に行くと、シャーツつって魚を丸呑みしたくなるわけか。そうそう。

それが自然の摂理というもの。  
なるほど。

弱肉強食とか、ああいうのもムード？

うん。

ハイエナとかハゲタカは、ムードで残り物食ってるわけか、じゃあ。  
嫌なムード。

残り物を口にしなきゃいけないムードって、でもわからなくはない。  
まあ、確かに堂々と正面切って食べるのはちよつとつとき、ある。

立食パーティーとか？

そうだ、サバンナの真ん中では毎日立食パーティー。

あれ？

ん？

じゃあ、餌食のシマウマとかシカは？

ムードで食われてるんだよ、だから。

あ、でもそれってある。

あるある。

たまに思うもん、場の雰囲気「今日は餌食かな」とか、「食われちゃうかもね」なんて。  
しかも、嫌だなあって考えてるんだけど、従っちゃう、みたいな。

自然の摂理だから。

良くないのかも知れないけど、ペースを乱したくないっていうか。

逆に、「今日はあいつが餌食だ」ってわかることもある。

良く見たらそいつ、知らん顔してる。

すごい白々しい。

四面楚歌だって、そいつがムード出してる。

で、好きに遊ばれて疲れて帰って、家でぐったりする。

その後どうする？

鼻血が出るまでチョコレートを食べう。

正統派なんだ。

私は放火かな。

季節外れでも？

餌食になるのは季節に関係ないでしょ。

私は冬が多いけど。

心温まらない？冬の放火って。

確かに、犯罪だけど夏にやられるよりはほんの少し多めに見ちやうかも。

人殺しはしたくないからその家の人が誰もいないことを確認してからするんだけど、今年の正月、ある家で誰もいなくなるまで隠れて見張ってたら風邪ひいた。

ああ、温泉の予約がうまくとれなかったから、正月にはずっと家にいたんだ。

早く言ってよ、それを。

ごめんごめん。

大変だったんだから。

こっちは見張ってるっていうのに近所のガキが駒持って集まってきた、「やってやって」ってせがむから、仕方なくやってたら夢中になっちゃって、綱渡りとか扇子の先に乗せたりとかして、うっかり人気者になっちゃった。

四月から公民館で講座を開くらしい。

結局、また餌食なわけだ。

うん。

でもいいよ、すごく。

北海道・沖縄開発庁官よりは充実してる。

隙間を埋め合わせるってことは大切だ。

不服ならその講座、私に譲れ。

あ、だとしたら私に。

私がいい。

私の方がましだ。

まして何？

だから、市民を喜ばせる自信があるっていう。

何がしたいわけ？

N A S A の宇宙開発技術を主婦に提供したい。

私は老人のボケ防止のために相対性理論を教えたい。

もつと現実的な、役に立つことの方がいいよ。

どんなこと？

酪農。

妥当かな？

適当だと思っただけ。

カルシウム不足だし。

現代人は。

これからは、今までガレージにしてたところで牛を飼うのが男前。

私はそこにN A S A を作るのが次世代の常識かなと考えてただけ。

私はアインシュタインのポスター。

君だけしよぼいぞ。

それは認めるところだ。

間をとって、植民地の作り方講座なんてのはどう？

あつ、それすごくいい。

誰もが望んでる。

そうか？

だとしたら、自分家のガレージにまず支配される人々を住み込ませる事が必要になってくる。  
面倒臭い。

うん。

いけると思っただけ。

残念。

もうしようがないから、何でも相談室ってところで手を打たない？  
そうだね。

世知辛い世の中だし、きっと成功する。

ノリノリってわけにはいかないけど。

プルルルル。

はい、こちら何でも相談室。

プルルルル。

プルルルル。

はい、何でも相談室。

はい、何でも相談室。

どう？

みんな同じ相談ばかり。

しかも無茶ばかり。

何？

「自分家のガレージに何でも相談室を開設したいんですけど」って。  
そんなに相談されたいのか。

あ、じゃあ逆をいこう。

逆？

何でも相談する室。

ゴージャス！

ちよっと、興奮気味。

早速だ。

パッピッポッピッピッポッ。

もしもし、あの、こちら何でも相談する室ですけど、何か、相談したいんですけど、相談したいことがないんです、って、あ。どうしたの？

断られてしまった。

難しいね。

目が回る。

例によってアフロな迷宮。

切り口には常にアフロ。

見上げれば、いつもアフロ。

だって、昨日アフロ風呂だったから。

だからか。

理屈はいいから早くしないと、ひんしゆく買うよ。

ああ、そうだ。

何のために今日、バイトを早番にさせてもらったのかわからなくなる。

うん。

大相撲ダイジェスト。

今日の一番はヘキソ山とファンゴ海。

ヘキソ山は身長三十六メートル二十四センチで腹黒いので有名。

対するファンゴ海は身長〇・三ミリで冷暖房完備。

時間一杯。

はっけよい。

のこった！

見失った！

ヘキソ山、踏んづけるのが怖くなって土俵から出ていった。

ほら、やっぱりそうだ。

くそお。

いつか、必ず天竺に行ってみせる。

賭けは賭けなんだから。

はいはい。

今日はこれ（くるみを差し出す）。

何？

最終兵器。

手のひらサイズ。

うん。

これを使うとどうなるの？

誰も知らない。

そんな。

最終兵器は最終に使うのが作法とされているから。

ごもつともだ。

そもそも、どの時点で最終とするか、あるいは何の最終を最終とするのかが問題になってくる。

見届けるべきか。

でも、みんな死んじゃった後に最終が来たらわからない。

うーん。

つまらないね。

うん。

（投げ捨てる）

誰か、電気ショックでも受けて来なきゃだめなんじゃない？

千回夜を過ごして、夢の中で眩しかった思いもしたことがないのに、自分の名前にユーモアなんか感じたりなんかするわけがない。

だから、そこがおかしい。

ブーツにサソリ突っ込んで、いつ死ぬかわからないところでツイストするような輩がめっちゃクル。  
次元が違いたいね。

ここでこうしてる間にも、下の階では派手な姉ちゃんらはべらして湯水のように金をフラスナーから垂れ流している人がいる。  
お利口さんのぬかるみに足を取られることさえ避けることができればいいんだけど。

全く、こんなところに用意された希望や絶望なんて、結局何の経験にもならないってことを良い子に教えてあげたい。  
息苦しいし。

こんな時、ハワイアンでも軽く踊れたらなあ。  
でも、賞味期限はとっくに過ぎてるんだから。

泣き寝入りか。

その辺はダブルのスーツにスキー用のサングラスといういでたちによる寝ずの番で確認しているから保証する。  
すごいでたち。

それが似合うのは現時点においてヤクザと江夏だけだ。

まあ、江夏がヤクザか、ヤクザが江夏なのかという問題系にはここではあえて触れないことにしておくけど。  
糠喜びだけはしたくないから。

あ、でも、いつもカチンカチン体操してるときにふと思うんだけど、死ぬまで糠喜びがずっと続いたら、それはかなり幸せなんじゃないかな。

糠喜びが糠喜びを呼んで、チェーンスモーカーの火みたく。

だから糠喜びであることに気づくこともない。  
手際が良さそう。

「一難去ってまた一難」の「去って」って部分を強調すると同じ意味じゃないの？  
「去って一難また去って」

ほら、何だか良いこと尽くしって感じの香りが口の中に広がる。  
スカンクのおならって、スカンクにしてみれば良い迷惑だよな。

私だって、威嚇するときにおならする。

最近、威嚇することなんてすっかり減っちゃったけど。

だめだめ、そんなことじゃあ。

ライバルには一発食らわせておかないと。

「俺色に染まれ！」って感じで。

「自分がライバルです」って人は？

自分で自分のおならを食らえばいい。

ざっくばらんだなあ。

懐の深さが伝わってくる。

しかも多趣味そう。

とりあえず、クレー射撃には手を出してるね、きっと。

で、家に帰ったらボトルシップ。

朝は自転車通勤。

好きな作家は司馬遼太郎。

ちよつと自閉的じゃない、それ？

大丈夫、釣り友達がいるから。

釣りもするか。

うん。

うーん。

欠点が見当たらない。

だからそうなんだって。

みんな、自分のおならを嗜むくらいになったら、平和な世界が実現する。

その点、アメリカ人はだめ。

どうして？

風呂に入ったらジャグジーとか言っって、最初から泡だらけの中だから自分のおならがどこに行ったかわからなくなるでしょ？

ああ、そりゃ同感だわ。

それが、よりによって「インディペンデンス・デイ」だもの。

エイリアンも呆れるね。

ああ、それは言ってた。

誰が？

だから、エイリアンが。

何て？

「はた迷惑な天真爛漫さには腰が抜ける」って。

もうここ最近嘆き明かしてるみたい。

春も近いというのに。

「でも、私たちには選挙権がないんです」って。

後、誰も来ないと思つて夜中に頬杖ついてたら、突然見回りに来やがってって歯をこうやって（前歯を爪で叩いて）鳴らしてた。何それ？

彼らの生活習慣の中では、頬杖はかなり恥ずかしい行為らしい。

その、葉を鳴らすっていうのは？

激怒。

あらら。

警備の人は無事だったの？

とりあえずはよかったみたいだけど、エイリアンは未だに「頭丸めて来い、この畜生め！」って、そいつを見ると怒鳴るんですよって、照れくさそうに言ってる。

語り口が古風だね。

自分の星では、トップブリーダーで有名らしい。

飼ってるペットの毛並みは良いけど、飼い主は神経使いっぱなしで毛が抜ける一方だって、愚痴ってた。

向こうでも格式の高い趣味らしいけど、それを女房が理解してくれないから夜が大変だって。

しかも、そのエイリアンの女性は「月のもの」っていうのが人間とは逆で、月に数日間しか性交渉ができないシステムになって、出来る日の女房は化粧が濃いから一目で分かるって…

ちよっと。

ん？

どうでもいいけど、そのエイリアン喋りすぎ。  
ほんとだ。

しかも落ち着きなさそう。

うん。

あれ？

何？

上見て、ほら。

何、あれ？

あれ、ほんとだ。

鳥の大群？

いや、まだわかんないけど。

でも、飛ばたいているような感じはしない。

どちらかというと、空を駆けていつてるような。

すごい数。

何だろう。

こっちに向かって来てない？

まさか。

だって、何か。

うわ。

ちよつと、やばいんじゃない？

ほんとだ、こっちかもしれない。

ちよ、これ、うわっ。

逃げよう！

無駄無駄。

めちやくちや速いよ。

だめだ、マジ。

伏せろ！

（全員、伏せる。謎の生き物はみんな頭の上を通り過ぎる）

見た？

毛並みがいい。

そうそう。

あれ、あれだ。

うん。

だって、何か、手入れが行き届いてる。

また、来るんじゃない？

そんな感じ、するね。

速いわ、やば。

再来！

（全員伏せる。通り過ぎるまで待つ）

どうする？

え？

このままでいいの？

何が？

脅迫されてない？ 私たち。

勝手に脅迫されてるだけかもしれない。

実はセレモニーとか。

パワフルな錯覚。

こんな大勢で同時にそんなことはありえない。

虚ろな現実。

プログラムにはなかった演目。

極めて枝葉末節だ。

達成感だけがグルグルと渦巻いてる。  
ダンスだ。

何かに答えてくれてるの？

いや、なしのつぶてに違いない。

そうあってほしい。

また来る？

スピードは遅くなった気がする。

ここに止まるんだ。

グランドキャニオンがパーキングか。

あ、やっぱりそうだ。

うわあ、すげえ。

何匹いるんだろう？

でもほら、みんな気品がある、ちゃんと。  
落ち着き払ってる。

反面教師？

とりあえず姿勢が正しい。

シャンって、こんな感じで。

かっこいい。

やるなあ、トップブリーダー。

邪魔者が点検に入る前に、大切な人にそつと教えてあげたい。

その興奮を隠すような、大きな風呂敷は用意できないけど。

この際、多少のハッスルは大目に見てもらいたいと願う。

もちろん、これが百パーセント伝えたいなんて少しも考えない。

どんな言葉を持ってきても、この口から発した途端に寒くなる。いたという興奮と、伝わらないという贅沢でかなりのリッチマン三昧。永久に続く祝日を、確信持って保存できる貸し倉庫を手に入れた。何か、すごいプラトニックな状態で、TPOなんかTKO。自分のサイズが思ってたより深く、喜ぶ以外には何もできない。リフォームは、忘れた頃に突然出来上がりでもうクラクラ。種も仕掛けもない、マイ・遊園地で冒険してる犬気分。忙しなく永らえる異常な有機体の中にコスモスを見た。脇目振りまくりのステディ・ライフに唯一の意思表示がある。死ぬまでにお気に入りのテレビ番組が見つかるかどうか心配。そういえば最近、虹に出くわすことがほとんどなくなった気がする。天の邪鬼な自分だけど、そういう自分が天の邪鬼だからどうしたものか。ランプに灯を点すと、洞窟の中には見たことのない自分が眠っていた。プラットホームを縦断するおじさんに孤独なアドベンチャーを共感。もう好きにやってるからわざわざパーティー会場に行かなくてもいい。他人がどう言おうと、至ってまじめに燃えてやってる毎日に感謝。太陽に「今晚どう？」なんて気安く誘ってみても全然平気。結局限界を通り越してることには限界がないってことだから。人間として生まれた以上、死ぬまでに一度はメルツバウを体験しなきゃ。遠くメキシコの荒くれにも、テキィラを一杯おごってもらいたい。ベッドの片隅には、黒猫が寝そべるだけのスペースは空けておこう。フェンシングの剣の先にあんパン突き刺して踊り狂えば最高のグルーヴ。イエローページの電話番号全部に語呂合わせできたら業界人になれる。システムキッチンの中ではゴキブリもシステムティックに動き回る。筆箱の中に小さなトカゲを飼ってたんだけど、気づいたらミイラになってた。

無人島には、最新サウンドシステムより老朽化したラジカセがかっこいい。私の故郷、千里ニュータウンはますますニュータウンって、わかる気がする。何も無いのがわかってるのに、ポケットに探りを入れるのはガキだけじゃない。私たち、安らかなたぬき寝入りに見えて実はハードないかの塩辛。ヤギの放牧も、おぞましいクラブの光と音も、両方乱痴気騒ぎ。かわいいウエイトレスが押すワゴンの中に「NO NEW YORK」見つけてはしゃいだ。悲しい物語は悲しく、楽しい物語は楽しく喋る術しか持っていないんだけど。インド人が「カーツ、ペツ」て痰を吐いてるのを見て、私は国際人になった。お互いが驚かそうと変装してたから、お互いを勘違いしたまま今日まで来た。浜辺で首まで埋められた者同士、仲良く好き勝手な歌を歌った。ひしゃげたシルクハットにスクランブルエッグ乗せたら平和の象徴、ハト、ハト、ハト。両親は蛾次郎の演技に笑い、私たちは蛾次郎そのものに笑い、彼はヒーロー。電車の中って、テトリスしたり、携帯かけたりで何かと忙しそう。エコロジーにうるさいうちの父さん、鼻毛の手入れに余念がない。下着のカタログに外人さんが多いのはGHQの名残なんだってじいちゃん言ってる。押し入ってターンテーブル置くのに都合いいから、日本に生まれて良かったなあ。「私、ブルジョアなの」って言って聞かない彼女は本人の意志に反してめちやくちやクール。ウルトラマンって兄弟が多いから、M78星雲には娯楽がないんだ。無重力状態の暴れ馬に万歩計をつけるとどうなるんだろう？ギロチンの刃が落ちてくる以前に、ギロチン自体にガタがきてるんじゃないか？

〈幕〉

『空腹者の弁』 作 筒井潤

〈初演〉

劇団ドラママテック・カンパニー 第七回公演

一九九七年三月七日～九日

会場…ウイングフィールド（大阪府大阪市）